

# KSN 通信 VOL.210

こんにちは。いつも弊社をご利用いただき、誠にありがとうございます。

2025年のノーベル賞では、日本人研究者が2名受賞しました。

生理学・医学賞では、大阪大学特任教授の坂口志文氏が選ばれました。受賞理由は「末梢性免疫寛容の発見」に対してで、坂口氏らが発見した「制御性T細胞」は、免疫反応の暴走を抑える「警備役」ともいわれ、がん細胞の増殖や自己免疫疾患などに関係していることから、「免疫系がどのように制御され、抑制されているかの基礎的な発見をし、がんや自己免疫疾患などの新しい治療法の開発を進めた」として評価されました。

化学賞においては、京都大学特別教授の北川進氏が選ばれました。受賞理由は「金属有機構造体(MOF: Metal-Organic Framework)の開発」です。MOFは、金属イオンと有機配位子を組み合わせて作られるナノレベルの無数の孔を持つ多孔性材料で、この孔の大きさや形を自在に設計できる特徴があります。その内部空間を利用してことで、二酸化炭素の回収・貯蔵、水素エネルギーの貯蔵、薬の放出制御、天然ガスの効率的な貯蔵・輸送、有害ガスの除去、触媒としての活用等、環境・エネルギー・医療分野等での幅広い応用が期待されています。

## ■ KSN ニュース

### ■ トラックスケールの定期検査を実施いたしました

弊社では、お客様がご搬入される廃棄物を工場内に設置しているトラックスケールで、2回計量を行うことにより実重量(積載重量-空重量)を測定しています。

検定に合格したトラックスケールを使用する者は、都道府県知事、特定市町村の長、指定定期検査機関のいずれかが行う定期検査、もしくは計量士による代検査を受けなければいけません。検定合格済みの計量器がこれ以降も取引・証明用として使用できるかどうかを判断するためには、2年に1度の法定点検を受検する必要があります。弊社のトラックスケールも、前回の定期検査から2年が経過するため、先般、大阪府計量協会による定期検査を実施いたしました。その結果、無事合格し「定期検査合格証シール」をいただきました。

これからも、お客様に安心してご利用いただけるように正確な計量を心がけてまいります。

